

“当たり前を当たり前”

校長 西田和弘

5月には1年生は校外学習で明日香村へ、2年生は宿泊学習で八千高原に行ってきました。3年生は7日から修学旅行で長崎に出発します。1年生はコロナの影響で小学6年生の時に行くことができなかった明日香村での学習です。

校外学習や宿泊学習などのねらいの一つに「集団づくり」があります。1学期の早い段階で取組を実施して、新しいクラスや学年での集団づくりに取り組んでいきます。

言うまでもありませんが、新型コロナウイルスへの感染防止に注力しながらではありますが、このような学校行事を行えるようになり子どもたちの活気も上昇しているところです。

さて、5月の生徒集会で子どもたちに3つの話をしました。内容は以下のとおりです。

1つ目は「疲れていませんか？」

疲れには心と体の疲れがありますよ！心の疲れを取るためには少し工夫がいります。その工夫の一つは、だれかに「しんどい思いを聞いてもらおう」です。心の中にたまったしんどい思いを吐き出さないと、新しいエネルギーはたまってきません。

2つ目は「中間テストについて」

テストの結果だけにとらわれてはいけませんよ。結果を得られた人は、自分の得意分野を伸ばせるようなチャレンジをしましょう。目標に届かなかった人は、自分の勉強方法や苦手分野の分析をして、もう一度復習しなおしたり、練習を重ねてください。

3つ目は「彩和学園開校記念集会」を終えて

「小学校が懐かしかった」「小さな小学生がかわいらしかった」「集会を運営することが大変だった」などの感想がありました。1～9年生の発達段階に大きな違いがありますが、その違いの中で適切な言動が何なのかを感じ、考えることが、彩和学園のよさの一つになります。

以上の話をして、当たり前のことを当たり前でできる明中生であり、同時に新しいことに臆することなく挑戦できる彩和学園生になれるように成長してほしいという思いを伝えました。

最後に、本校ではセクハラ・パワハラ相談窓口を設置しております。

本校の担当は「首席 丸山 支援CO 矢野」となっております。

“**Let's Try!** 実践躬行 **MEIJIKE**” を合言葉に！

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～